

(様式1)

平成27年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 085	提案機関名 横須賀三浦地域県政総合センター
要望問題名 堆肥の施用量低減による畑土壌の硬化について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 三浦半島における土壌の物理性、生物性の改善を目的とした堆肥及び有機物(緑肥作物を含む)の投入量については、過去に流通実態を調査しているが近年、堆肥の入手難や生産コストの問題から投入量の低下が危惧される。 これに対応するため、有用な有機物の種類や、効果的・効率的に投入する手法に関する試験研究について、体系的な取り組みをお願いしたい。	
解決希望年限	① 1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ② 2～3年以内    ③ 4～5年以内    ④ 5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	三浦半島地区事務所 研究課
対応区分	① 実施 <input checked="" type="checkbox"/> ② 実施中    ③ 継続検討    ④ 実施済    ⑤ 調査指導対応    ⑥ 現地対応    ⑦ 実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) ダイコン畑における新しい緑肥栽培の体系化			
対応の内容等 堆肥や有機物の投入量の低下については大きな問題であり、過去にも地域の関係機関が一体となり対応した経緯があります。その当時と現在では当地域の農業を取り巻く環境が大きく変わってきていることもあり、実態に即した対策が必要と考えています。 緑肥作物の施用効果や栽培体系については標記課題で実施しており、普及指導課と連携して順次現地への普及を進めています。 また、土壌中に含まれる有機物の実態については、本所生産環境部土壌環境研究課が実施している土壌炭素含量調査結果の推移等を参考してください。			
解決予定年限	① 1年以内    ② 2～3年以内    ③ 4～5年以内    ④ 5～10年以内		
備考			